

Institute of Navigation (ION : 米国航法学会)の主催する「Pacific PNT 2017」が5月1日～5月4日の期間、ハワイ・ホノルルにて開催されました。IONは、測位・航法・調時 (PNT : Positioning, Navigation, Timing) の科学発展に貢献するための非営利組織であり、航空、宇宙、海洋、陸上の航海および位置決定に関心を持つ多くの研究開発者が所属しています。IONの「Pacific PNT」は、環太平洋地域のPNTに関する政策やシステムアップデートを議論し、技術情報を交換するための国際会議で、2013年と2015年にも開催されています。

今回の会議では、「GNSSアップデート」、「高精度測位」、「スプーフィング対策」、「QZSS」等のセッションが開催され、数多くの貴重な発表が行われました。中でも航空システムに関連するセッションが多く設けられていました。

当社においては、「Inconsistency between Maps and Satellite Positioning Results Caused by Crustal Movements (地殻変動による地図と衛星測位の不整合)」と題し、研究開発知財本部 市川裕貴が発表したところ、終了後の休憩時間に至るまで議論が展開し、多くの参加者の関心を得るところとなりました。各国の専門技術関係者が集う会議における発表は、当社の研究や取組みを内外に周知するとともに、当社も最新技術情報を入手する機会として有意義なものとなっております。

2017年度には国産GPSとも呼ばれる「QZS : 準天頂衛星」3機の打ち上げが予定され、翌年度には本格運用開始が予定されています。当社は今後もQZSS/GNSSを活用した高精度位置情報技術の研究・開発を進め、社会に貢献できるよう邁進してまいります。当社の取組みに是非ご期待ください。

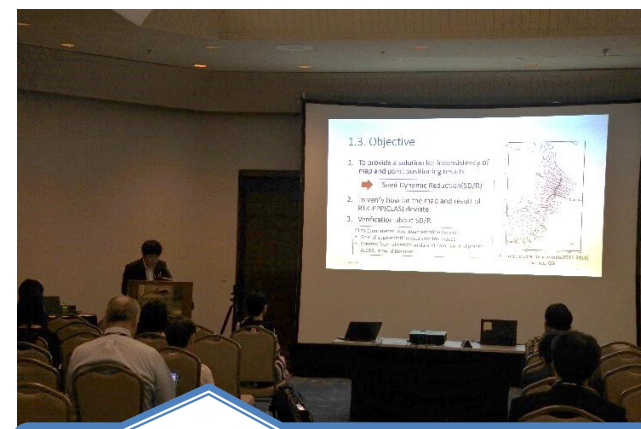
【 ION Pacific PNT 2017 会場と会議当日の様子】



会場：ハワイ・ホノルル マリオットワイキキビーチホテル



会議の参加者が活発に交流している様子。



当社研究発表風景。地殻変動による地図と衛星測位の不整合のテーマは多くの関心を得ました。

【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対する、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。